

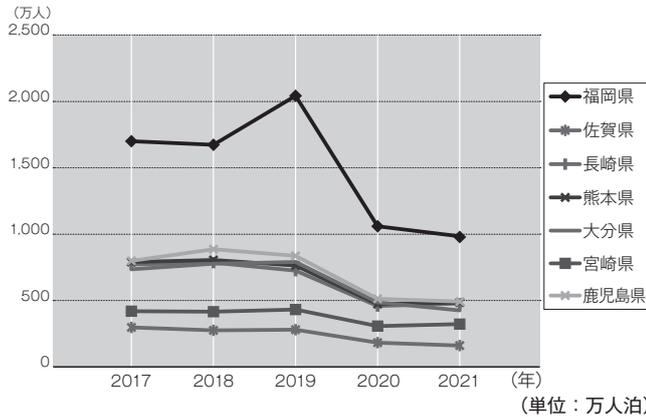
# IV-7 九州

コロナ禍により宿泊者数の減少が続く  
各県で宿泊割引キャンペーンを実施  
「九州の感動と物語をみつけようプロジェクト」開始

## (1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると2021年1月から12月の九州各県の延べ宿泊者数は、九州全体では3,283万人泊となり、前年比5.6%減となった(図IV-7-1)。長崎県、熊本県、宮崎県の3県は微増となった。一方で、減少率が最も大きかったのは大分県であった。各県の前年と比べた増減率は以下の通り。  
福岡県:9.2%減、佐賀県:13.9%減、長崎県:1.9%増、熊本県:0.1%増、大分県:14.4%減、宮崎県:2.5%増、鹿児島県:3.9%減。

図IV-7-1 延べ宿泊者数の推移(九州)



資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

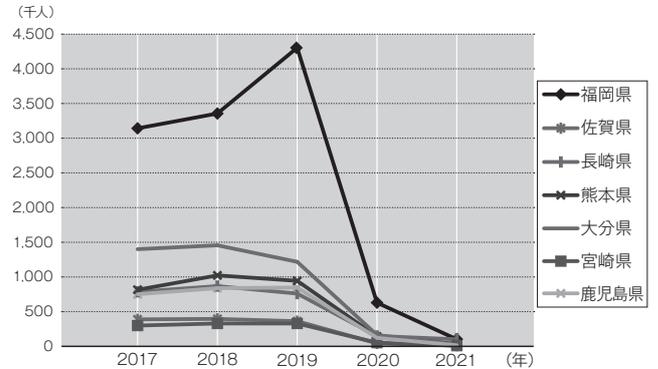
外国人延べ宿泊者数は、九州全体では31万人泊で、前年比76.0%減となった(図IV-7-2)。九州のすべての県で外国人延べ宿泊者数は減少しており、特に鹿児島県、大分県、佐賀県、福岡県、宮崎県の減少率は8割を超えている。各県の前年と比べた減少率は以下の通り。

福岡県:83.3%減、佐賀県:83.8%減、長崎県:24.8%減、熊本県:74.5%減、大分県:84.6%減、宮崎県:80.7%減、鹿児島県:87.0%減。

なお、2019年12月時点では、九州全体で11か国・地域、24都市から週436便の国際航空路線があったが、2021年12月時点では、4か国・地域、4都市からの10便となった(表IV-7-1)。

また、国際定期旅客船は、韓国からの船舶による旅客運送停止が日本政府から要請されていることにより、2020年3月からすべて運休となっている。

図IV-7-2 外国人延べ宿泊者数の推移(九州)



(単位: 千人泊)

都道府県名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
福岡県	3,112	3,367	4,262	623	104
佐賀県	385	392	359	42	7
長崎県	779	860	753	148	112
熊本県	808	1,013	935	140	36
大分県	1,387	1,442	1,207	162	25
宮崎県	297	327	326	53	10
鹿児島県	744	831	840	121	16

資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-7-1 2019年12月及び2021年12月の九州内の国際航空路線一覧

空港	路線	2019年12月		2021年12月		
		就航都市	便数/週	就航都市	便数/週	
福岡空港	韓国	ソウル、プサン、大邱、済州	171	ソウル	3	
	中国	北京、上海、武漢、煙台	44	—	—	
	台湾	台北、高雄	52	台北	1	
	香港	香港	31	—	—	
	マカオ	マカオ	4	—	—	
	フィリピン	マニラ	14	マニラ	4	
	タイ	バンコク	17	シンガポール	2	
	ベトナム	ホーチミン	10	—	—	
	シンガポール	シンガポール	7	—	—	
	マレーシア	クアラルンプール	4	—	—	
USA	ホノルル、グアム	11	—	—		
北九州空港	韓国	ソウル、プサン、襄陽	6	—	—	
	中国	大連	3	—	—	
	台湾	台北	7	—	—	
九州佐賀国際空港	中国	上海、西安	7	—	—	
	台湾	台北	2	—	—	
長崎空港	中国	上海	2	—	—	
	香港	香港	3	—	—	
阿蘇くまもと空港	台湾	高雄	3	—	—	
	香港	香港	3	—	—	
大分空港	—	—	—	—	—	
宮崎アーゲンビリア空港	韓国	ソウル	6	—	—	
	台湾	台北	2	—	—	
鹿児島空港	韓国	ソウル	6	—	—	
	中国	上海	2	—	—	
	台湾	台北	5	—	—	
九州全体	—	—	11か国・地域、24都市(経由地含む)	436	4か国・地域、4都市	10

資料:九州内各空港HPをもとに(公財)日本交通公社作成

## (2) 観光地の主な動向

## ① 地方・都道府県レベル

## ●九州における緊急事態宣言等の状況

九州においては、福岡県で2021年1月14日～2月28日(2回目)、2021年5月12日～6月20日(3回目)、2021年8月20日～9月30日(4回目)にそれぞれ新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令された。また、各県において、以下の通り新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発令されたほか、独自基準による警報等が発令された。

表IV-7-2 九州各県のまん延防止等重点措置の発令状況

福岡県	2021年6月21日～7月11日、8月2日～8月19日、 2022年1月27日～3月6日
佐賀県	2021年8月27日～9月12日、2022年1月27日～3月6日
長崎県	2021年8月27日～9月12日、2022年1月21日～3月6日
熊本県	2021年5月16日～6月13日、8月8日～9月30日、 2022年1月21日～3月21日
大分県	2022年1月27日～2月20日
宮崎県	2021年8月27日～9月30日、2022年1月21日～3月6日
鹿児島県	2021年8月27日～9月30日、2022年1月27日～3月6日

資料：九州内各県HP等をもとに(公財)日本交通公社作成

## ●新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2021年も祭礼やイベントの開催中止や開催方法の変更等、大きな影響があった。九州で行われる主な祭礼やイベントの2021年の開催状況は以下の通り。

表IV-7-3 2021年の主な祭礼・イベントの開催状況

祭礼・イベント	開催地	開催時期	開催状況
長崎ランタンフェスティバル	長崎市	1月	中止
博多どんたく港まつり	福岡市	5月	演舞台行事やパレードを中止し、開催内容を縮小
博多祇園山笠	福岡市	7月	昇き山行事は翌年夏に延期。飾り山のみ実施
宮崎宮仲秋大祭 放生会	福岡市	9月	関係者のみで開催。御神輿行列、奉祝行事などの関連行事は中止
長崎くんち	長崎市	10月	神事のみ執り行い、奉納踊りと御神幸は中止
唐津くんち	佐賀県唐津市	11月	曳山の巡行は3日間から1日に縮小して実施。市民や観光客には沿道での観覧自粛を呼び掛け
おはら祭	鹿児島市	11月	2日間から1日、かつ午前中のみ短縮。規模を縮小して開催
佐賀インターナショナルバルーンフェスタ	佐賀市	11月	無観客で開催。当初の5日間の日程を3日間に短縮し、開催内容を縮小
八代妙見祭	熊本県八代市	11月	関係者により一部の神事のみ執り行い、神幸行列、御夜(前夜祭)などの関連行事は中止

資料：各主催団体HP等をもとに(公財)日本交通公社作成

## ●九州各県における宿泊割引キャンペーンの実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により打撃を受けた観光産業の支援のため、2020年に引き続き、九州各県や各市町村において、県民向け、九州在住者向け等の宿泊割引キャンペーンが実施された(表IV-7-4)。

表IV-7-4 九州各県の宿泊割引キャンペーン

	キャンペーン名
福岡県	福岡の避密の旅
佐賀県	佐賀支え愛宿泊キャンペーン
長崎県	ふるさとで“心呼吸”の旅
熊本県	くまもと再発見の旅
大分県	新しいおおいの旅
宮崎県	ジモ・ミヤ・タビ キャンペーン
鹿児島県	今こそ鹿児島島の旅

資料：九州内各県HP等をもとに(公財)日本交通公社作成

## ●「九州の感動と物語をみつけようプロジェクト」ポータルサイト開設

一般社団法人九州観光推進機構(2022年6月より九州観光機構に改称)は、2021年10月1日、「九州の感動と物語をみつけようプロジェクト」専用ポータルサイトを開設した。

これは、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等の影響により厳しい状況となっている観光産業のため、九州の観光の魅力「感動」、楽しみ方「物語」を、たくさんの人に「みつけて」もらい、体感してもらおうというプロジェクトである。

ポータルサイトには、九州の鉄道駅を巡り、その駅独自の「駅印」を収集する「旅の御朱印帳 九州駅印帳」や、九州の人気温泉地10か所を巡る新モデルコースの紹介等のコンテンツが用意され、九州ならではの魅力や楽しみ方が紹介されている。

## ●5年連続の豪雨災害発生

2021年8月11日以降の豪雨により、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県等で人的被害や物的被害が発生した。

この災害により、長崎県雲仙市の雲仙温泉では、一部の宿泊施設および観光施設が被害を受け、2022年3月現在、雲仙地獄が土砂災害のため一部立ち入り禁止となっているほか、一部の宿泊施設が休業している。また、佐賀県武雄市においても一部の施設が被害を受けたものの、2021年9月までに復旧した。また、鉄道ではJR久大本線、JR佐世保線等で被害を受けたものの、9月17日までに復旧した。

一方、これまでの度重なる災害で被災した地域の復旧・復興も進んでおり、「令和2年7月豪雨」により被害を受けた球磨川くだり人吉発船場は、「HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA」としてオープンした(詳細は後述)ほか、橋梁の流失等の被害を受けたJR久大本線は2021年3月1日より全線で運転を再開した。また、「平成29年7月九州北部豪雨」で被災したJR日田彦山線は、バス高速輸送システム(BRT)による復旧に向けた準備が進められるとともに、沿線地域では「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」を策定し、BRTの利用促進や観光拠点創出に向けた取り組みが進められている。

### ●奄美大島、徳之島 世界自然遺産登録

2021年7月26日、第44回ユネスコ世界遺産委員会において、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録された。鹿児島県では、アマミノクロウサギに代表される希少種を含む多様な生物が生息・生育していることが評価され、奄美大島、徳之島の2地域が登録された。登録地域は、奄美大島は金作原原生林、湯湾岳等11,640ha、徳之島は北部の天城岳と中部の井之川岳等2エリア計2,515haとなっている。

日本の世界自然遺産として5件目、鹿児島県では屋久島につぐ2件目の登録となった。

### ●「佐賀サイクリングクラブ」公式サイト開設

佐賀県では、サイクルツーリズムを推進しており、2021年3月31日、一般社団法人佐賀県観光連盟ホームページ「あそぼーさが」内に「佐賀サイクリングクラブ(SCC)」の公式サイトを開設した。SCCサイト内には県内4ルートの周遊ルートの紹介や、サイクルラック設置場所の案内等が掲載されている。

### ●「リモートワークin長崎」プロジェクトの推進

長崎県では県内市町と連携して、都市部企業や人材のリモートワーク・ワーケーション誘致の取り組み「リモートワークin長崎」プロジェクトを推進している。

2021年3月15日には長崎県移住支援公式ホームページ「ながさき移住ナビ」内にリモートワーク支援特設サイト「HOW WE WORK NAGASAKI」を開設した。同サイトでは、移住の推進、関係人口の創出・拡大を目指して、県内のリモートワークが可能な施設の情報やリモートワーク・ワーケーションに取り組む各市町の紹介等を掲載している。

### ●「宇宙ノオンセン県オオイタ」キャンペーンが始動

大分県では、2021年12月より新たなシティプロモーション「宇宙ノオンセン県オオイタ」キャンペーンをスタートした。これは大分県とアメリカのヴァージン・オービット社のパートナーシップにより、大分空港がアジア初の「水平型宇宙港」となり、早ければ2022年に人工衛星が打ち上げられる予定であることを受け開始されたものである。

県内の宿泊施設で「宇宙人です」と自己申告すると、プレゼントや割引等の特典が受けられる「宇宙人割」等のキャンペーンが行われている。

### ●JR九州「さあ！九州を元気に。」プロジェクト

JR九州は、2021年7月より「さあ！九州を元気に。」プロジェクトを開始した。このプロジェクトでは、飲食・観光・宿泊業等の店舗・団体と一体となって地域を盛り上げ、九州の元気を発信することを目指し、店舗・団体名とともにメッセージを掲載したポスターや、プロジェクト動画を制作した。

### ●福岡県とANAホールディングスが包括提携協定を締結

2021年11月10日、福岡県とANAホールディングス株式会社は、社会貢献に関する包括提携協定を締結した。

福岡県は、新たな公的サービスの担い手と期待されるNPO

や企業等多様な主体が互いに協力し、ともに支え合う「共助社会づくり」を進めており、その実現に向けて協定を締結したものである。今後、観光振興及び県産品振興、文化・芸術・スポーツ振興、移住・定住促進、災害時の支援等8つの分野で連携が進められる見込みである。

### ●「長崎県ユニバーサルツーリズムセンター」開設

長崎県は、2021年1月30日、長崎空港1階到着ロビーに「長崎県ユニバーサルツーリズムセンター」を開設した。

これは、高齢者や障害者をはじめ、妊婦や子供連れの家族等、幅広い世代が、県内での旅行を楽しめるよう受け入れ環境を促進する長崎県の取り組みの一環として開設されたもので、宿泊施設や観光施設等のバリアフリー情報や、オーダーメイドの観光コースの提案、車椅子・ベビーカーのレンタル、入浴時の介護士の派遣等のサービスをワンストップで対応する観光窓口となっている。

### ●「国文祭・芸文祭みやざき2020」開催

地域の文化資源等の特色を活かした文化の祭典である「第35回国民文化祭・みやざき2020」「第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により当初の予定から1年延期となり、2021年7月3日から10月17日まで107日間の会期で開催された。「山の幸 海の幸 いざ神話の源流へ」をキャッチフレーズに、期間中には県内外から約56万人が宮崎の文化の魅力を広く発信した。

### ②広域・市町村レベル

#### ●九州佐賀国際空港リニューアル

##### スーベニアショップ「sagair」オープン(佐賀市)

佐賀の空の玄関口「九州佐賀国際空港」では、航空機を利用するとき以外でも楽しめる空港を目指しリニューアルが行われた。

2021年4月、ターミナルビル2階に佐賀県産品を集めたスーベニアショップ「sagair(サガエア)」がオープンした。また、国内線搭乗待合室が拡張されたほか、有料ラウンジのリニューアル、無料駐車場の拡張等が行われた。

#### ●「HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA」オープン(熊本県人吉市)

河川舟運事業を展開する球磨川くんだり株式会社は、「令和2年7月豪雨」で壊滅的な被害を受けた人吉発船場のリノベーション工事を行い、観光拠点施設「HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA」として2021年7月4日にオープンした。

「HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA」は、水害からの復興に向け新しい人吉を「発見」「発信」「発展」させられるランドマークとなることを目指した施設であり、球磨川くんだりやラフティングの受付のほか、球磨川と人吉城址を望む開放的なテラスを備えたバー、水戸岡鋭治氏デザインのミーティングルーム等、「ツアーデスク」「カフェ」「ショップ」の機能を兼ね備える。

### ●「長崎市恐竜博物館」オープン

2021年10月29日、長崎市恐竜博物館がオープンした。

長崎市では、これまでに1,300点以上の恐竜の化石が発見されており、博物館は特に多くの化石が発見されている野母崎地区に立地している。館内には国内で唯一の展示となる全長約13mのティラノサウルスの骨格標本をはじめ、恐竜の化石等が展示され、石炭ができた時代を経て現代に至るまでの長崎市特有のストーリーを生かした博物館となっている。

### ●日本初の常設城泊施設が開業(長崎県平戸市)

2021年4月、日本初の常設の城泊施設として、日本百名城の一つでもある平戸城を宿泊施設化した「平戸城 CASTLE STAY 懐柔櫓」が開業した。宿泊は1日1組限定で完全貸し切り制。宿泊料金は1泊最大60万円(消費税、サービス料、食事料金、体験メニュー別)で、オプションとして特別な城主体験が用意されている。

### ●星野リゾート「グランドハイアット福岡」の経営権取得

2021年3月18日、星野リゾートグループと福岡地所株式会社は、パートナーシップに関する基本協定を締結した。この協定では、福岡の発展への貢献や、将来的には九州やASEAN諸国への展開も視野に入れている。

また、星野リゾートグループはキャナルシティ博多内にある大型ホテル「グランドハイアット福岡」を福岡地所グループから6月1日付で取得し、キャナルシティ博多の運営に参画する。一方、福岡地所株式会社は「ANAクラウンプラザホテル福岡」の不動産を星野リゾートグループより取得し、運営は引き続き星野リゾートグループが担う。

### ●阿蘇観光プロモーション「I'm fine! ASO」第3弾実施

熊本県と公益社団法人熊本県観光連盟では、2016年4月に発生した熊本地震からの阿蘇の復興をPRするためのキャンペーン「I'm fine! ASO」を2020年度より実施している。

2021年3月に国道325号 新阿蘇大橋(詳細は後述)が開通し、被災したすべての幹線道路が復旧することに合わせて、「I'm fine! ASO」第3弾を行った。マルシェ等阿蘇の魅力発信イベント、春のあそ巡りクイズラリー、熊本県観光予約サイト「くまもつと旅行社。」における阿蘇地域の体験型商品の割引販売等が実施された。

### ●新型高速船「QUEEN BEETLE」国内での遊覧コースを運航

JR九州高速船株式会社により運航されている博多-釜山航路は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年3月より運休している。このようななか、2020年10月に博多港に到着以来、定期航路への就航の目処がたたず、係留されたままとなっていた新型高速船「QUEEN BEETLE(クイーンビートル)」を活用し、国内での遊覧運航が行われることとなった。

まず、2021年3月より、世界遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の構成資産である沖ノ島と大島の二島を海上から遥拝できる「沖ノ島遊覧コース」が、ツアー商品として販売され、運航された。その後、4月からは福岡湾遊覧コース、糸

島沖遊覧コースが新たな国内遊覧コースとして加わった。

なお、「QUEEN BEETLE」はパナマ船籍(2022年3月に日本船籍に変更)であったため、国土交通省より沿岸輸送特許を受け、国内遊覧運航が行われた。

### ●「サウナのまち」を宣言(大分県豊後大野市)

「おんせん県おおいた」にありながら温泉がない豊後大野市は、2021年7月、「サウナのまち」宣言を行った。

この宣言は、アウトドア・サウナを新たな観光資源として活用し、地域と連携した取り組みを進めていくために行ったものであり、アウトドア・サウナ文化を盛り上げるための協議会「おんせん県いいサウナ研究所」によって「あえてサウナ。」プロモーションや、「サウナ万博」の開催等の取り組みが行われている。

### ●新阿蘇大橋・苅田若久高架橋開通

熊本地震により落橋した熊本県阿蘇村の国道325号 阿蘇大橋は、「新阿蘇大橋」(延長525m)として旧橋から約600m下流の位置に新たに架け替えられ、2021年3月7日に開通した。また、崩落当時のまま残されている旧橋の橋桁は震災遺構として保存される予定である。

一方、福岡県苅田町の福岡県道新北九州空港線 苅田若久高架橋が2021年5月30日に開通し、東九州自動車道の苅田北九州空港ICと北九州空港が直結した。この開通により、空港利用者の利便性の向上や、周辺の工業団地へのアクセス向上による地域の活性化が期待されている。

### ●「かしかえん」閉園(福岡市)

西日本鉄道株式会社は、福岡市東区の遊園地「かしかえんシルバニアガーデン」を、2021年12月30日をもって閉園した。

「かしかえん」は、チューリップやバラ等の季節の花が咲く「西鉄香椎花園」として1956年に開園し、福岡市唯一の遊園地として親しまれ、1986年には年間57万人が訪れた。しかしながら、近年は来場者の減少傾向が続いており、2009年に西日本初となるシルバニアガーデンへの大型リニューアル等を行ったものの、施設の老朽化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う更なる利用者の減少により、65年の歴史に幕を下ろすこととなった。

(小川直樹)